

おまけシリーズ

「ガーディアンの気持ち」ならぬ「私の独り旅日記」→第4回

今回は、昨年6月25日から29日まで北海道の 江別→南幌温泉→旭川→美瑛→富良野→十勝岳温泉→然別峡（しかりべつきょう）→然別湖→支笏湖（しこつこ）についてです。

今回も JR 東日本・JR 北海道 5 日間 新幹線、特急、ローカル線乗り放題で、26620円という格安切符で、メインは秘湯を求めての独り旅でした。

- 1) 初日の25日は、我が家を4時20分にタクシーで二宮駅に向かいました。東京から新幹線「はやぶさ」の1番列車6時32分発に乗るためでした。ご存じのように、石神台から二宮駅はバスで180円位ですが早朝の送迎タクシーはなんと2,000円掛かりました。ビックリですが皆さんも覚えておいてください。
新幹線「はやぶさ」はいつもの通り快適で4時間弱で新函館北斗駅に着きました。函館から札幌に、昔からの友人に会って食事をするためです。友人に電話をすると、「自宅に来て欲しい」と言われて札幌の隣の市の江別市の自宅を訪問すると、ご夫妻で迎えて頂き感激しました。しばらく歓談して「一緒にどこかに食事に行こう」と言うと、彼は「もう夕食の支度が出来ている」と言われ、友人自ら手巻き寿司の材料を魚市場で仕入れていて、2度目の感激でした。今度は「泊って行ってください」というのを固く固辞して近くの南幌温泉に行きました。ここは地元の人が行く日帰り温泉ですが宿泊施設もあり、いい温泉でした。
- 2) 二日目は旭川に出て、ここでレンタカーを借りて美瑛、富良野、十勝岳温泉に。北海道でレンタカーに乗るのは初めてですが、さすがに北海道は広い、どこまでも信号のない道が続き、おまけに車が少ないので一般道でもすぐに時速100キロ位出てしまい「事故と取り締まりには気をつけろ！」と言われていました。富良野では有名な富田ファームで満開のラベンダー畑を見学しました。30年ほど前にかみさんと一緒にツアーで来たことがありましたが、その時の景色と変わっていないようでした。ここではちょっとしたハプニングがありました。ラベンダーのきれいなところで写真を撮っていたら、近くにいたきれいな女性が「シャッターを押しまじょうか？」と言ってきたので、思わず「お願いします」と言って押しもらったのです。特にもの欲しそうな顔をしていたつもりはないと思ったのですが、定かではありません。なんとなくうれしい気分になってお土産に買っていたラベンダーの石鹸をあげてしまいました。(笑)
富良野から一路、十勝温泉を目指しました、十勝温泉はかなり遠い気がしましたがラベンダー畑で写真を撮ってもらったことを思い、一人にやにや？しながら走ったらあっという間に着いてしまいました。(馬鹿ですね！)
途中でキタキツネを何度も見ました。宿の周りにも何匹もいました。流石に山奥に来た感じでした。露天風呂も予想通り素晴らしかったです。
- 3) 三日目は然別湖奥の「かんの湯」という秘湯の湯に行くのですが、時間がありそうなので、どこか見学できるところを宿の人に聞くと、「北の家族の口ケ地を見学はどうですか？」と言われて、行くことにしました。この辺は無計画の独り旅の気楽なところ。南富良野はラベンダーの富良野とはかなり離れていてバスツアーで

のコースにはほとんど入っていないところでした。麓郷（ろくごう）地区は「北の国から」のメインのロケ地で「丸太小屋」「石の家」「拾ってきた家」など実際にロケで使用していた家がそのまま残っていました。中でビデオなどもやっていて2時間たっぷり見学出来ました。この辺もバスの出発時間を気にすることなく、独り旅の良い所でした。そこから本日の秘湯の湯の宿は車で4～5時間かけた、然別湖から更に奥でキタキツネや、シカや熊の住んでいるような「かんの湯」と言う温泉です。泉質の違う露天風呂が4つほどありどれも良かったです。ビックリしたのは宿の従業員6～7人が全て男性でしかも外国人だったことでした。ここでも人手不足だったかと。 お客は10人程でした。料理は山の中の温泉にふさわしく山菜や、川魚が中心でそれなりに美味しかったです。

- 4) 四日目は然別から支笏湖までの行程ですが、まず然別湖まで戻ります。湖畔に無料の足湯があったので足湯に浸かっていると、すぐ近くに何やら動くものが、よく見ると、1.5メートルほどの大きな蛇でした。怖くなって施設の人を呼ぶと、驚きもせず「青大将だから大丈夫！」と取り合ってくれない。逃げるように支笏湖に向かいました。このコースもまた山や林の原生林の中、そして時折町に出るというまるで外国の田舎を走っているような錯覚になりました。時速100キロほどで走り、時々自動速度取り締まりの標識を見ると、スピードを落とすようなドライブでした。今日の宿は支笏湖の反対側にあり、これが秘湯の宿？と思うような豪華なホテル、1泊2食29,000円程で一般的な秘湯の宿からすると高い感じでした。温泉も、食事も部屋もそれなりに良かったのでまあいいか、と。
- 5) 五日目の最終日は支笏湖から苫小牧に出て、レンタカーを返して車で新函館北斗→新幹線で東京→大磯へと無事に帰ってきました。今回も天候に恵まれて、いろいろなハプニングもありましたが楽しい独り旅が出来ました。

拙い作文ですが読んで頂ければ幸いです。

(BY テツ&ゴン)